

東京

「其の日」暮らし



桜もち編

好きな和菓子のナンバー1は、なんといっても「みたらし団子」。次席は「桜もち」、「芋ようかん」と続きます。

自転車で20分くらいの所にあるお気に入りのお店街では、みたらし団子の店と芋ようかんの店の両方があるので、みたらしを食べながらお土産（自分用）に芋ようかんを買う・・・という贅沢なことをしていました。最初は気づかなかったのですが、よーっく見ると、その商店街には、大福を売っている店は何軒もあるけれど、生菓子を売っているお店がないのです。桜もちやおはぎが見つからない・・・近所の商店街の和菓子屋さんでも見つからない。以前、東京の百貨店で桜もちを買ったことがあったので、その時は「季節じゃないから売ってないんやわぁ」ぐらいですみました。ところが、去年の冬、大阪に帰省したとき叔母が桜もちを買って来てくれたのをみて「やっぱ、この季節でも売ってるやん。桜もち」と思い、東京に戻ったら再確認をしようと心に決めました。

東京に戻って、関東に住む義姉（関西人）が家に遊びに来ることになり桜もちを買ってきてもらいました。嬉々としてお土産をあげると、なにやら四角い物が3つ入っている。自分の頭の中にある、まあるい可愛い「桜もち」とは全く違う物が出てくるという思いもよらない展開に・・・絶句・・・気を取り直し・・・ん？丸くない四角い物が桜の葉っぱに包まれている。へえー東京は四角い形で、ピンクのもっちりとした部分はみせへんねんや。銀座のお菓子屋さんやし期待できそう！」。

早速お皿に移して葉っぱをあげると・・・ピンクの茶巾寿司のよう。桜の塩漬けが乗ってるから桜もち？箱には桜もちって書いてあるしなあ。ピンク色のクレープの皮にこしあんを包んだ柔らかな風合いです。葉っぱは塩気が完全に抜けてますが、桜の塩漬けはとても美味。オイシイのだけれど・・・だけど、やっぱり空振りした感じ。義姉に「東京の桜もちって四角でお餅じゃないねんなあ」と言うと彼女は「そういえばそうやねえ。」とのんびりとした返事。ガツカリしているのは私だけみたい・・・折角買ってきてくれたし、桜の花の塩漬けは美味しかったし。でも、「これは私の食べたい桜もちじゃないっ！」心の中で、ぼそっとつぶやいてしまいました。

後で調べたところ、東京で「桜もち」といえば焼いた皮で包んだものを言い、私の食べたかったものは「道明寺」と言っそうです。同じ物があったのです。名前が違っていただけのも知らず、言い

東京



VS

大阪



たい放題の無礼の限り、東京の桜もちさんごめんなさい。

後日、母が東京に来た時に「桜もち」をお土産に頼んで持ってきてもらいました。当分食べなくても大丈夫なくらい食べました。

掲載の記事・写真・イラスト等の全てのコンテンツ無断複写、転載を禁じます。

(株)ファッションビジネス・御堂筋新聞